

“しょうちいき つうしん”



編集発行／葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

国の「緊急事態宣言」が5月31日まで延長されたことを受けて、東京都も当初5月6日までとしていた「緊急事態措置等」の実施期間を、5月31日まで延長しました。外出の自粛、イベントの開催自粛、そして人との接触を減らすことが要請されています。

このような中で、「顔の見える関係づくり」や「つながり」を大切にしながら、小地域福祉活動の一環として進めているサロン活動やイベントなどの取り組みも中止が相次ぎ、戸惑いや葛藤、やり切れなさ、一方で自分自身の健康や暮らしにも不安を覚えながら、複雑な気持ちで過ごしていることと思います。

人が集い、ふれあい、顔を合わせて交流するということが醍醐味の活動が制限されるという、これまでにない事態となっています。先が読めないうえ、思いを交わし合うための集まりすら難しい状況にあります。

そうした状況にあっても、「つながり」が途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけるには、何ができるのか？

小地域福祉活動を推進されている皆さんへの助言・支援や具体的な取り組みなど、情報の収集・発信を“しょうちいきつうしん”で行っていきます。

減収や離職、閉じこもりがちになるなど、生活状況が深刻化する区民も増加しています。

社協では、現在、生活福祉資金の特例貸付に対する申請が殺到しており、感染防止に留意しながら迅速に対応しています。



もくじ

- ・提案 集まれなくてもつながる方法とは … P2
- ・各地区小地域福祉活動の活動報告 … P3

提案

集まれなくても、“つながる”方法とは？

●電話でつながろう！

これまで活動に参加していた方の安否確認や、メンバー間のコミュニケーションのために、日頃から使い慣れている電話は有効です。

特別な用件はなくても会話をすることで、閉じこもりがちな生活の中で「誰かが気にかけてくれている」「つながっている」という気持ちが芽生えてきます。



●メッセージカード（ハガキ）でつながろう！

会えなくなっている参加者へのメッセージカードを作る。メッセージを書くにしても、一定のフォーマットを作るなど負担にならないようにして、そこに一言メッセージを添えてみるのはいかがでしょうか？

接触しないために郵送するほか、活動者の運動を兼ねて歩きながら戸別にポストインすることで、玄関先や家の様子から暮らしぶりをうかがうことができるでしょう。

また、往復ハガキを活用することで、一方通行から相互通行の意思疎通が可能となり、返信から安否確認や近況報告を共有するが可能となります。

●オンラインでつながろう！

ICT〔「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略〕ツールを使うことで、会わずしてできるコミュニケーションの幅が広がります。

メールやLINE（無料メッセージアプリ）は多くの人になじみがあると思います。あらためてメンバー間でのコミュニケーションツールとして使い方を見直したり、工夫次第では見守りのツールになるかもしれません。

ある地区のサロン活動者の方は、LINEを活用して参加者へお知らせや安否確認をされています。



●おうちでできることをシェアしよう！

閉じこもらざるを得ない生活の中で、身体機能が低下したり、気持ちが沈んだりする人が増えることが懸念されます。

そのような中、サロンなどの集いの場に参加していた高齢者に向けて、家でできる体操や脳トレを掲載したプリント、毎日の日記をつけられるようなプリントを配るアイデアもあります。



ある地区のサロン活動者の方は、“しゅくだい”と称して折り紙の課題を出しているユニークなメッセージカードもあります。

以上、4つに分けて紹介しましたが、単独ではなく、複数を組み合わせたり、相手・場面によって使い分けたりすることで可能性が広がります。

“密”を避けながら今できることを、これからのことを、皆さんと一緒に考えていきます！

“しょうちいきつうしん”は、平成30年度より発行しております。

情報紙の発行を通じて、各地区で取り組まれている、地域福祉活動の紹介や地域福祉に関する情報の掲載をしてきました。

令和2年度の“しょうちいきつうしん”では、葛飾区社会福祉協議会からの情報提供だけでなく、各地区の推進委員の皆さんや地域の住民の皆さんからの意見も取り入れ、地域の皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。

社会福祉協議会のホームページより
閲覧できるようになりました！



こちらからご覧いただけます。

URL:
<https://www.katsushika-shakyo.com/>

他区の取り組みについても
紹介していきます！

葛飾区内の小地域福祉活動の取り組みに限らず、近隣の様々な区で行う小地域福祉活動の取り組みについても紹介していきます。

皆さんからの「こんなことが知りたい！」という意見もお待ちしております。 よろしくお願いいたします。



各地区小地域福祉活動の活動報告(1月~2月)

[敬称略]

金町地区

★サロン「お茶のみ会」

内容：1月は『フェルトの編細工』を作成
2月は『ひなまつりカレンダー』を作成

日時：毎月第2水曜日 正午~午後3時
1月8日(水) 2月12日(水)

会場：金町地区センター 2階ロビー

参加者：35名~40名

※5月のサロン「お茶のみ会」は中止です。



フェルトの編細工



『ひなまつりカレンダー』の作成

各地区小地域福祉活動の活動報告(1月~2月)

[敬称略]

堀切地区

★ミュージックショーとマジックショーを楽しむ会

内 容：カラオケとアカペラによる歌とマジックショー

日 時：2月15日(土) 午後2時~3時40分

出 演：Tacamy

松戸奇術会

会 場：堀切地区センター

参加者：121名



ミュージックショーと
マジックショーを楽しむ会

東四つ木地区

★ハープさくら会サロン

内 容：折り紙教室『おだいり様とおひな様をつくろう』

日 時：1月28日(火) 午後1時30分~3時

会 場：東四つ木地区センター

参加者：26名



『折り紙教室』の様子

東立石地区

★東立石さとざくら会 第1回勉強会

内 容：『なぜ、いま小地域福祉活動なのか?』をテーマに、
講義・グループワークによる勉強会を開催

日 時：2月14日(金) 午後7時30分~8時30分

対象者：東立石地区小地域福祉活動推進委員

会 場：東立石地区センター

参加者：31名



なぜ、いま小地域福祉活動が
『必要』なのか?

各地区小地域福祉活動の活動報告(1月~2月)

[敬称略]

四つ木地区

★困りごと相談

内 容：四つ木地区にお住いの高齢者とその家族を対象に
困りごとについての相談を受付(予約不要)

日 時：毎月第2水曜日 午後1時~3時
1月8日(水)・2月12日(水)

会 場：四つ木地区センター 2階小会議室

※5月・6月の困りごと相談は中止です。



★第30回歌声喫茶のつどい

内 容：季節の曲・アンケートによる歌手の曲の歌を歌おう

日 時：2月14日(金) 午後1時30分~3時

出 演：町田修一(歌・指揮)

杉谷博利(企画・監修)

山崎智恵子(ピアノ)

会 場：四つ木地区センター 3階ホール

参加者：63名



第30回歌声喫茶のつどい

予定について

5月号での、各地区の今後の予定の掲載はございません。

地区センターなどの施設は緊急事態宣言を受け、5月31日まで原則休館となっています。そのため、小地域福祉活動のイベントなども予定が未定のため、掲載していません。

8月号以降で、お伝えできればと思います。よろしくお願いいたします。



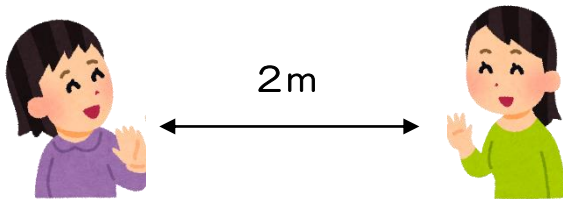


新型コロナウイルスの**感染予防**をお願いします！

コロナウイルス感染拡大防止のために『ゼロ密』を目指すことが大切です。

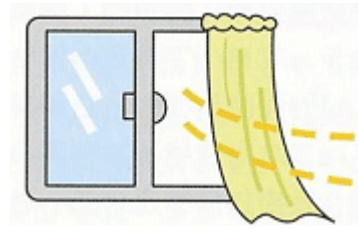
「密閉」「密集」「密接」をしないことで、拡大防止につながります。すでに対策をされていると思いますが、今一度ご確認をお願いします。

他の人と十分な距離をとる



2メートル程度の距離をとるようにします。

こまめに換気を行う



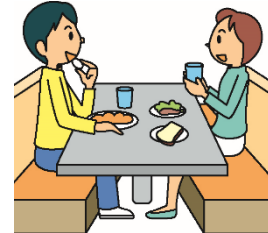
窓やドアを開け、こまめな換気をします。

屋外でも密集をしないようにする



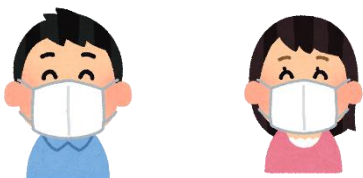
多人数での運動は避け、少人数での散歩やジョギングを行うようにします。

飲食店での距離にも注意！



多人数での外食は避け、互い違いに座るなどの対策をします。

マスクを着用します



会話をするときには、マスクを着用します。
5分間の会話は1回の咳と同じです。

電車やエレベーターでの会話に注意



電車やエレベーターでは、会話を慎むようにします。